

2020 年度 小委員会活動成果報告

(2021 年 2 月 18 日作成)

小委員会名	文化遺産災害対策小委員会	主 査 名：足立 裕司 就任年月：2017 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築歴史・意匠委員会	委員長名：西澤 泰彦
設 置 期 間	2017 年 4 月 ～ 2021 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	初年度～4 年度： 建築歴史・意匠関係者だけでなく、耐震、防火をはじめとする様々な関係者から情報を集め、文化遺産の災害への対応策定を目的として調査研究。 地震時に被災した文化遺産の被害調査と今後の応急対策の検討。 文化遺産の保全に際して生じる耐震補強、火災対策、建築基準法に関連する諸問題について、他の関連学会、機関等と学際的に検討。	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	主査：足立裕司 (神戸大学) 幹事：大橋竜太 (東京家政学院大学)、後藤治 (工学院大学) 委員：稲垣景子 (横浜国立大学)、梅津章子 (文化庁)、大窪健之 (立命館大学)、長谷見雄二 (早稲田大学)、花里利一 (三重大学)、藤田香織 (東京大学)、益田兼房 (文化財建造物保存技術協会)、村上裕道 (橘大学)、八木真爾 (佐藤総合計画)、安井昇 (桜設計集団)	
設置 WG (WG 名：目的)	該当なし	
2020 年度予算	170,000 円	ホームページ公開の有無：なし 委員会 HP アドレス：なし

項 目	自己評価
委員会開催数	なし
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	なし
講習会	なし
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	なし
大会研究集会	なし
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 火災と防火に特化した内容の拡大委員会を歴史的建造物保存制度WGと合同でオンライン開催することを企画したが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により開催日の調整ができなかったため中止した。 2. 対外的活動として、東京文化財研究所主催の文化遺産防災ネットワーク推進会議に日本建築学会代表として本小委員会委員が参加している。 3. 国立文化財機構 (東京文化財研究所、奈良文化財研究所) による文化財防災センター (本部奈良文研) の設立に伴い、本小委員会委員が複数参加し活動を支援している。
委員会活動の問題点 ・課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 拡大委員会とは形式的にはシンポジウムとして企画しているが、規程上のシンポジウムとはならなかった点は改善する必要があると考えている。 2. 本小委員会は新たな災害への対応を目標の一つとしているので、2月13日の福島沖地震による被害情報の集約を今後行う必要があると考えている。